

点字に触れる、点字を聴く

点字で広げる世界

3/11日

14:00▶16:00

府中市市民活動センター プラッツ
6F 第1会議室 B

無料

第1部

14:00
点字名刺を作ろう

第2部

15:00
川島昭恵「語り」
・「お母さんの目」あまんきみこ
・「きつね」新美南吉
(点訳本の朗読)

定員：20名（先着）

対象：点字、点訳に興味のある方
初めての方大歓迎

申込：専用フォーム または TEL・FAX
Email moshikomi@fuchu-platz.jp にて

※詳細は裏面をご覧ください

協力：川島昭恵

点訳ボランティアてまり

申込専用フォーム



主催：府中市市民活動センター プラッツ
府中市宮町1-100 ル・シーニユ5,6階（京王線「府中駅」南口徒歩1分）
TEL：042-319-9703 FAX：042-319-9714
<http://www.fuchu-platz.jp/>



川島昭恵

6歳の時、おたふくかぜから髄膜炎を併発し、視覚を失う。早稲田大学第二文学部卒業後プログラマーを経て、かねてからの思いを叶えてプロの「語り部」となる。



1989年、映画「津軽」出演。その後も数々の語りの会や講演活動で活躍。認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパンのメンバーとして、入院中の子どもたちにアートを届ける活動もしている。

中学生の時、文化祭で声優の北川智恵さんの語りを聴き、いっぺんでとりこになりました。耳から言葉を聴きながら、鮮やかな絵を心の中に次々と見せてもらっているようでわくわくしました。

それがきっかけで自分でも「語り」がしたくなり、友達の前や本屋さんの店先などで物語を聴いていただくようになりました。そしてそのたび、その楽しさ、面白さ、難しさを知っていきました。

北川さんは、『語りとは、語り手が心の中に絵を描く作業に似ている』とおっしゃっています。

目が見えていた時の私が一番好きだったことは、絵を描くことです。視覚を失ったあとは語りに出会うことで、新しい形で「自分がもともと好きなこと」をやり始めることができました。

一人でも多くの方と、一度でも多くの場所で、物語の楽しさを共有できたら…と願っています。

点訳ボランティアてまり

府中市点字講習会の修了者有志により2004年に発足。生活に密着した幅広い点訳を行っている。



- ・視覚障がい者からの依頼で、一般書籍や雑誌、日常品の説明書など。
- ・各団体からの依頼で、府中市民協働まつり参加団体名や府中市市民交響楽団のプログラムなど。

点字は6つの点で構成されている音標文字です。ひとつの点の打ち間違いで違う文字になってしまうので、常に間違いのない点訳をすることに気を付けています。

同音異義語や造語などは、点訳者が説明を入れる場合もあります。前後の文章から意味が推察できる時もあるので、説明が必要かを的確に判断することが大切です。視覚障がい者ご本人からの依頼の場合は、ご本人の希望に沿う点訳を心掛けています。

駅やエレベーターなど、点字は町中にあります。目に入っても、気づくことは少ないかもしれません。けれどそれを頼りに情報を得ている方もいらっしゃることを、広く知っていただきたいです。

参加申込

以下の内容を申込専用URL、もしくはTEL/FAXにてお申込みください。

氏名（ふりがな）	
TEL（当日連絡がつく連絡先）	
FAX	
E-mail	

※お申込みの際に頂いた個人情報は、府中市市民活動センター プラッツからのご案内の目的以外には使用しません。

府中市市民活動センター プラッツ

府中市宮町1-100 ル・シーニュ5,6階

TEL：042-319-9703 FAX：042-319-9714

申込専用URL <https://goo.gl/XA3gfm>

